

# 桃山東小学校

平成27年 臨時号  
京都市立桃山東小学校  
校長 野中 哲也

## 学校教育目標

～豊かな未来を切り拓き、夢に向かい、共に生きる子ども～

目ざす子どもの姿

元気に挨拶する子 しっかり勉強する子 人を大切にする子 きまりを守る子

梅の花もほころび、春の訪れを感じる今日この頃です。日頃は、本校教育活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。後期2月に保護者の皆様からいただきました「学校アンケート」「教職員自己評価」「児童アンケート」の結果を総合的に分析し、来年度より一層推進すべき点・改善点について考察いたしました。限られた紙面ではありますが、ご報告させていただきます。

### 〈学校アンケート(保護者)・児童アンケート・教職員自己評価)結果〉

	項目	保護者 実現度	児童 実現度	教職員 実現度
1	学校生活を楽しむこと	97.3(+0.9)	94.3(+3.6)	100
2	元気な挨拶をすること	75(+1.3)	83.1(-7.9)	75(-2.8)
3	人を大切にすること	95.4(+0.6)	96.3(+12.8)	75(-19.5)
4	誰とでも協力したり仲良くしたりすること	91.8(+0.6)	93.9(-2)	95(+0.5)
5	学校や社会のルールを守ること	94(+1.3)	90.1(-2)	55(-21.5)
6	みんなが使う物の後片付けや 自分の身の回りを片付けること	72.6(+7.6)	93.9(-0.9)	65(-12.8)
7	困ったこと・分からぬことがあれば 子どもが先生に相談すること	69.3(-0.3)	79(-12.9)	85(-1.6)
8	お子さんが家で学校での様子を話すこと	80.7(+3.8)	78.6(+2.1)	75(-7.4)
9	先生の話をしっかりと聞くこと	83.1(+0.9)	90.8(+12)	85(+23.9)
10	めあてに向かって学習すること	82(+3.1)	92(+1.2)	95(+0.6)
11	学習中、発表したり話し合ったりすることは 楽しいですか		81.7(+5.3)	
12	学習を楽しみ学習内容を理解すること	83.4(-2.3)	97.1(+19.5)	95(+11.7)
13	家庭学習や宿題の習慣を身に付けること	82.5	86.8(-0.7)	75(-6.3)
14	読書すること	59.3(+7.4)	86.8(+0.2)	80(-3.3)
15	担任に質問や相談をすること	61.2(+0.7)		85(-8.8)
16	忘れ物をしていませんか		73.6(-11.3)	

\* 実現度は、「よくできている」「大体できている」を合わせた数値です。(%)

\* ( )は1回目との数値の差です。

### 〈考察〉

学校アンケート(保護者)では、実現度の値そのものが低い項目もありますが、前期と比べて殆どの項目でプラスとなっています。これは、本校教育にご理解ご支援をいただいていると考え、今後も皆様のご協力を得ながら努力してまいりたいと思います。

児童アンケートでは、ほとんどの項目で実現度が80%を超えていました。前期を大きく上回った項目、下回った項目もありますが、これは、子どもたちが1年間を通じて取り組んだ結果、より明確に自身を振り返ることになった結果からくるものではないかと考えます。

教職員自己評価では、学校生活での子どもの姿に関する項目③⑤⑥で実現度が大きく下がっています。しかし、学習面の項目(⑨⑫)では前期より大きく上回っています。これは、児童アンケートでも同じような結果であることから、学習面については大きな成果があったと考えます。

### 〈来年度に向けて〉

・②『元気な挨拶をする』…児童の実現度は前期より下がっています。恥ずかしそうに会釈だけの児童もいますが、印象としては、大きな声で挨拶ができる児童は増えています。朝の挨拶運動に来年度も引き続き取り組んでいきたいと思います。

・③『人を大切にする』…児童の実現度は前期でも高い項目でしたが、後期では更に前期を大きく上回っています。これは、子どもたちが学校生活において意識して行動した結果と考えます。しかし、教職員の実現度は大きく下がっています。これは、教職員の目指す姿には至らなかったのではないかと思われます。今後も子ども同士の関わりをより深く見つめ、良い点について認めることで、更に人の関わりを大切にする児童の育成を目指していきたいと思います。

・⑤『学校や社会のルールを守る』…家庭と学校での実現度に大きな差があります。学校という集団生活の中では児童に社会性や主体性が求められます。道徳性を身に付けるとともに子ども自身がその時その場で何が正しいか判断し行動する力(子どもの自己指導力)の向上に向けて来年度も取り組んでいきたいと思います。ご家庭や地域におかれましても、子どもたちに温かく、時には厳しく声かけをしていただきたくお願い申し上げます。

・⑦『困ったこと・分からぬことを先生に相談』…児童のアンケートでは前期より大きく下回っています。子ども達にしっかりと目を向け、心の通った対応を行っていきたいと思います。

・⑯『忘れ物を…』…児童にとって忘れ物があるかどうかというのは、明確に分かる振り返りやすい項目であったと思われます。年度当初の意気込みから徐々に気持ちが下がることもあったのかもしれません、忘れないようにする工夫や努力ができるように学校でも家庭でも支援が必要だと思われます。

## 〈学校関係者評価〉

学校運営協議会の理事様からご意見をいただきました。(学校運営協議会 理事会 3月15日)

- ・挨拶をする子どもとしない子どもの差がある。挨拶は、自分をうつす鏡のようなものである。親や家庭でも挨拶を交わす環境づくりを進める家庭教育の大切さを呼びかけてはどうか。
- ・少年補導等の地域行事では、顔見知りになると高学年の子どもは、自分から挨拶をしてくれる。
- ・「声かけデー」では、こちらから積極的に挨拶をしている。その繰り返し・積み重ねで、低学年からは挨拶が返ってくるようになってきている。自分たちを見守ってくれている人だと思ってほしい。
- ・⑨⑩は、子どもも教職員も上がっているので取組の良い面が出ている。
- ・⑦については、先生に言いにくいというなら問題である。話をしにくいということがないよう、子どもの様子を見てやってほしい。
- ・地域から見て、①～⑤の項目は、大切な項目である。
- ・児童の自己評価が高いのは、自分では前向きに努力しているところなので認めてやってほしい。
- ・⑯忘れ物は、子どもだけの責任ではない。忘れ物があると授業に集中できない。保護者・教職員も評価をしていくことが必要ではないか。
- ・⑤⑥で教職員の評価が低いことは、良いことだ。親の価値観も変わり、甘くなってきたているように思う。昔から大事なことは変わっていないので、学校としてそのことを大切にしてもらっていることだと捉え、安心した。
- ・保護者の評価が高いことが気になる。学校でのルールを守っていない子どもの様子等を伝えていく必要がある。
- ・下校時に遊びながら歩く、危ない行動(ゆっくり走る車をたたいたり止めようとしたりする・学校西側斜面で遊ぶ・踏切をふざけて渡る・路側帯をはみ出して歩く)を見かけたら注意をしているが、何回もあり、注意された行動をなかなか直せない。ふざけている子どもをしっかり注意していかたい。
- ・どの子も我が子と思い、注意している。反対に価値観の違いで、注意したことを受け止めてもらえないかもしれないと思い、注意することをためらうこともある。
- ・心を豊かにする経験や体験は、かえがえのないものである。人を大切する心を育てていきたい。
- ・子どもたちは、家・学校・地域とそれぞれの環境で様々な表情を見せる。大人が良い環境をつくり、協力して子どもたちを育てていくことが大切である。

## 〈保護者アンケートの記述欄（学校教育の活動の中で見られた子どもたちの成果や課題）より〉

### 〈成長・成果〉

- ・真摯に注意を受け止める
- ・協調性がでてきた
- ・友達が増えた
- ・学級で団結して課題に取り組む
- ・協力して一生懸命一つの事に向かう
- ・行事で一生懸命取り組む
- ・学習発表会・運動会では子どもたちがきちんと取り組んでいた
- ・自主的に物事の判断ができるようになった
- ・責任感がついてきた
- ・さらに自分で考え、自ら行動・主体的に活動する力を
- ・周りの状況を見られる
- ・集中力がついた
- ・落ち着いて授業・家庭学習ができる。
- ・自分から宿題・自分の課題を理解して取り組む
- ・やるべきことはやる
- ・段取りを考えながら行動
- ・自分のことは自分で
- ・字がきれいに
- ・大きな声で発表
- ・給食をしっかり食べる
- ・新しい知識を得ようと意欲
- ・先生に質問して理解できた時の様子に成長を

### 〈課題〉

- ・ルールを守って過ごす
- ・自分の感情をコントロール
- ・他者との関わり
- ・誰とでも仲良く
- ・人にやさしく
- ・周りの状況を判断し行動
- ・自分から挨拶を
- ・注意し合える関係に
- ・暴言・言葉づかいが悪い
- ・人を思いやる気持ちを
- ・男女問わず 思いやりをもった友人関係を
- ・自立
- ・時間の有効活用
- ・めあてに向かって、何をするのかを
- ・自主的に家庭学習を
- ・分からぬことを先生に聞く
- ・先生の話をしっかりと聞く
- ・学校外で見られるゴミのポイ捨て

消極的な子ども・困っている子ども・学ぶスピードがゆっくりな子ども、積極的に先生に話にいけない子ども等、子どもたちをよく見て、一人一人の子どもを大切にした指導をしていきたいと思います。そして、ルールを守り、人との関わりを大切にする指導を継続し、人を大切にする子どもの姿を目指していきたいと思います。

また、漢字・計算・「書くこと」の指導の充実、子どもたちへの掃除指導を充実し美しい学校に、雰囲気の良い学校に、というご意見もいただきました。

これからも、学校の取組を分かりやすく伝え、地域や保護者の皆様と協力・連携し、桃山東小学校の教育活動を進めていきます。来年度もどうぞよろしくお願ひいたします。